

よっちゃんだより

2012.9月号
vol.38

株式会社 ISO
~いっしょに保険を選びましょう~
余助 康弘
TEL 0761-46-5820 FAX 0761-46-5811

みなさま、お変わりないでしょうか?
夏の疲れも出てくるころです。
ひと休めひと休め。
よっちゃんだよりで“もじ”ぞ



3次元と4次元思考

空港の待合所で、彼女は、さき買ったクッキーを食べながら飛行機を待っていた。
すると、隣の見知らぬオヤジが、いきなり手を伸ばして彼女のクッキー缶からクッキーを
ひた取り食べ始めた。!!!??? 彼女は一瞬何が起きたのかわからなかった。
(いまオヤジが私のクッキー、勝手に食べたよね?) 彼女がもうひとつクッキーをとると、隣のオヤジも
また彼女のクッキー缶に手を伸ばして食べた。ええええええー。あきらかにこの
オヤジ、私のクッキー食ってる! なんなの、このオヤジ、最低!!! でも、彼女は不振なオヤジに
小怖くなり、クッキーをしまうこともできず、オヤジを怒ることもできず、黙々とクッキーを食べろか
なかった。彼女がひとつ食べるとオヤジもひとつ食べろ。彼女がひとつ食べるとオヤジもひとつ
食べろ。残ったクッキーはひとつになった。せめて最後のクッキーは私が食べろ。しかし、
オヤジが一瞬早く手を出し、最後の1個をとってしまった。信じられない、このオヤジ……
ところが、そのとき、オヤジが最後のひとつのクッキーを半分にし、彼女に半分のクッキーを
差し出した……………

ここまでが3次元のお話でした。

続く

続き……

飛行機に乗り込んだ彼女は、カバンの中をあけた。
すると、あのクッキー缶がカバンの中に入っていたのです。
まだ封を切っていない状態で。え? さき、オヤジ
食べたクッキー缶。食べ終わったはずなのに、新品の
状態で封を切られずに入っている。なんで? なんで?
!!! 彼女はほっと気がつく。空港で買った私のクッキー缶
はあとカバンの中だったんだ! さき食べたのは、
隣のオヤジのクッキー缶だったのです。彼女は自分も同じ
ものを買っていたので、自分のものと甚か違いして、
オヤジのクッキーを逆に無断で食べていたのです。
オヤジは悪くなかった。むしろ、
自分のクッキーを食べた後から、最後のひとつのクッキーを
半分にし、彼女に差し出してくれた、めっちゃ優しい
オヤジだったのです。

3次元では「嫌な人」に見えても
4次元から見れば「最高にいい人」なんです。

最近の人ほど3次元思考になりがちです。そこで4次元で
見ることができたら、「最高にいい人」に見えるはお話です。
きり……

これが 4次元思考 でした。